



大原小だより NO3

美作市立大原小学校 令和 5. 5. 8

発行文責 校長 金島久美子

《学校教育目標》

自らの考えをつくり、協働しながら活動し
社会に貢献できる児童の育成
「主体」「協働」「挑戦」



育てたい心・主体・協働・挑戦

1 全校児童・地域の方で力を合わせた遠足。主体（自考力）協働（他行力）・挑戦（社高力）



あちこちで地域の方のお出迎え



後山神社での地域の方の応援



ごみ拾いをしながら歩く班

○懐かしの旧東栗倉小学校を出発し、「愛の村パーク」に向け徒歩 4 キロの初の遠足コース。
今年の遠足の目標：①東栗倉地域の自然や地域を知る。②縦割り班で協力して歩き、交流をする。

○沿道には、児童の出迎えや安全な歩行を見守ってくださる東栗倉地域の皆様。子ども達は、地域の皆様に手を振ったり、花の種や折り紙のプレゼントを手渡したりして、感謝の気持ちを伝えながら、改めて東栗倉地域を知りました。東栗倉地域の皆様の笑顔と応援がとても励みになりました。

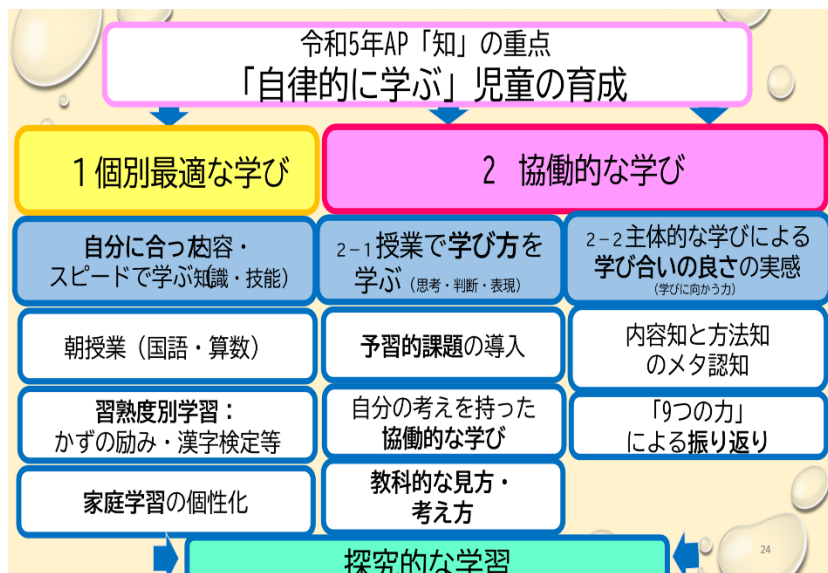
○愛の村パークは標高 500m。全て上り坂。6 年生が 1 年生の手を引いたり、重いリュックを持ってあげたり、心優しい場面が見られました。

そして、2つの班の6年生の班長さんたちは、道路に落ちている空き缶や多数のゴミを集めながら歩きました。（♡挑戦、社高力）昨年度の「大原の街をきれいにしよう」の学習を利活用し、実践した2人は、LC5 のメンバーとして、全校のお手本を示してくれました。

○おいしいお弁当のあとは、自由遊びを考えたり、集合を呼びかけたりするなど、マスクなしの互いの満面の笑顔を見ながら、六年生のリードでそれぞれの遊びを満喫しました。

○みんなの心に清々しい思い出が刻まれました。保護者、地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

2 学校経営について②



この学校通信を通して今年度の大原小学校重点的取組を一つずつお伝えしていきます。

今回は「個別最適な学び」
「自分に合った内容・スピードで学ぶ」
今年度から朝授業の算数では「数のはげみ」をはじめます。

「数のはげみ」とは
67種類の算数のプリントを、学年別の内容を問わず、じっくり取り組むタイプ、どんどん進めていくタイプ等、一人一人の学習に応じて進みます。

「数のはげみ」の取り組み方

- ①I ステージからスタート→自己採点
 - ②合格→2ステージへ→どんどん進める
→67ステージ
 - ③不合格→そのステージをくりかえし学習
 - ④自分でステージの進捗をチェック
- ※希望で「家庭学習」(いわゆる宿題。R5 から「家庭学習」という名称)で活用も可能。
○学年の指導内容・進捗を問わず、自分の習熟度に応じて個別に進めていくシステム



「数のはげみ」プリントは通級の教室前に設置してあります。
ご自由にご覧ください。

参考 (問題の一例)

ステージ1 (NO1) 「いくつといくつ」

6 は 3 と ○ 6 は 4 と ○ 7 は 5 と ○ 8 は 5 と ○ …

ステージ29 (NO29) 「10 倍した数・10 でわった数」

16×10 , 320×10 574×100 3200×100 , $50 \div 10$ $630 \div 10$ $5000 \div 10$ $6000 \div 10$ …

ステージ67 (NO67) 「分数の割り算3」

$1.5 \div 4.5 \times 2.4$ $1.5 \div 4.5 \times 2.4 \dots$

$5/9 \div 5/8 \div 2/3$ $4/5 \div 6 \times 3/4$ $12/5 \times (1/3 + 1/4) \dots$

※分数を「/ (スラッシュ)」にして記載しています。

5 地域とともに

喫茶ノンノン様から「福山雅治」のひまわりの種をいただきました。

昨年度の「サザンオールスターズ」のあさがおの種に続き、今年度は、「福山雅治」のひまわりの種です。

昨年度いただいた「ウクライナ」からのひまわりの種とともに、学童の建物の西側の畑に植えました。

夏には、2種類のひまわりが咲くひまわり畑になるはずです。

お楽しみに。